

平成24年4月10日開催 県政ランチミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・開催日 平成24年4月10日（火） 正午から13時まで
- ・会場 長野市権堂まちづくりセンター1階 まちカフェ
- ・参加グループ 長野失語症友の会「ぐるっと一座」
- ・懇談のテーマ 『失語症など障害者が普通に生活できる地域社会の実現について』

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

（1）失語症に関する社会の理解促進について

（ご意見の概要）

- ・失語症に対する社会の理解度が低い。就労等にもハンデを抱えており、行政としても理解の促進に努めてほしい。

（知事の発言）

- ・知らないことがコミュニケーションを阻害していると思う。企業へ障害者雇用を呼び掛けても、障害者のイメージを勝手に連想してしまい反応が悪い。より多くの人に障害特性を理解してもらうことが重要な部分だと思う。
- ・我々としてももっと知る機会を作らないといけないと思う。障害のない人間同士でも、実はコミュニケーションが取れていないことも多い。人と人がしっかりと会話することが実は重要なことだと思う。

（ご意見等に対する対応状況）

- ・長野失語症友の会等と連携しながら、失語症者の存在とコミュニケーション機能に多様な障害を抱えることへの理解促進を社会に周知するとともに、ハローワークや障害者総合支援センター等と連携して就労への後押しをしてまいります。
- ・また、平成25年度の新規事業として、県民や企業・団体がサポーターとなって、様々な障害の特性を理解し、日常生活や就労を支援する「あいサポート運動」を展開していきます。【担当課：障害者支援課】

（2）映画制作に関する支援の要請について

（ご意見の概要）

- ・映画制作に取り組んでいるが、資金集めが難航している。資金面での支援を頂ければありがたい。また、映画に長野県の後援をいただきたい。

（知事の発言）

- ・県では県民協働による新しい公共の取り組みの一環として、NPO等の収入基盤を強化するため、寄附等によるNPO活動を支える新たな仕組みの構築を考えており、それも活用してもらいたいと思う。
- ・せっかく映画を作るなら、いろいろな人に呼び掛けてネットワークを広げられるのではないかな。
- ・映画の活動は多くの人に関わりやすい活動。お金を出せる人は出してもらい、宣伝を手伝える人は手伝ってもらえる。
- ・失語症の理解が低いという話があったが、映画を核にして、様々な可能性があるのではないかな。

(ご意見等に対する対応状況)

・平成23年度に県が支出した「地域支え合い体制づくり事業費補助金」は、立ち上げ支援という性格のため単年度限りの補助としています。映画制作に関しては、平成24年度の独立行政法人日本芸術文化振興会の補助金申請にアドバイスを行ってきました。今後関係方面への周知などで協力することは可能であり、具体的な御要望を伺いながら対応してまいります。

・県民の皆さまや企業等の寄附によりNPO等の公共的活動を支援する仕組みとして公共的活動応援サイト「長野県みらいベース」が平成25年4月に立ち上がる予定ですので、ご活用ください。【担当課：障害者支援課、地域福祉課、県民協働・NPO課】

(3) 会話パートナーの制度化について

(ご意見の概要)

・会話パートナーの制度化をお願いしたい。

また、外見では分からない障害だけに、失語症であることを示す携帯カードの普及に力を入れていきたい。

(ご意見等に対する対応状況)

・失語症会話パートナーの制度化については、手話通訳者や要約筆記者と同様、全国共通での取組が必要と思われますが、県としても情報を収集しながら、可能な対応を研究してまいります。

また、「横浜失語症パートナーを養成する会」が作成した携帯用カードについては、長野失語症友の会の普及活動に期待しています。【担当課：障害者支援課】

3 問合せ先

総務部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp